

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

東京都

行事名称	第62回文化財防火デー 金龍山浅草寺消防訓練
実施期間・日時	平成28年1月25日(月) 9:00~9:40
実施場所	金龍山浅草寺(東京都台東区)
主催者	金龍山浅草寺、日本堤消防署

■実施内容

訓練の想定

浅草寺観音堂で火災が発生し、多数の参拝者が逃げ遅れ、飛び火により重要文化財の浅草神社や二天門にも延焼危険があるとの想定。自衛消防隊による初期消火や避難誘導、各参加隊による救護活動や消防活動が行われ、最後は合計9口からの一斉放水を実施。

訓練の内容

自衛消防隊による火災発見、通報、初期消火(消火器)、重要物品(模擬)の搬出、参拝者避難誘導及び応急救護を実施。消防署、消防団、災害時支援ボランティア、町会防災団による情報収集訓練及び一斉放水を実施。

参加者及び役割分担

自衛消防隊	16名：火災発見、通報、初期消火、重要物品の搬出、避難誘導、応急救護、放水訓練
日本堤消防署	61名：情報収集、救助活動、放水訓練、交通整理
消防団	17名：放水訓練
町会	9名：避難誘導、放水訓練
災害時支援ボランティア	16名：避難誘導、放水訓練

特に工夫した点

自衛消防隊により発見、通報、初期消火、避難誘導などを自主的に活動させ、災害時には自分のところは自分で守る意識付訓練を実施。

問題点・課題

浅草寺は外国人観光客が多いことから、演習時の交通整理が難しかった。外国語やプラカードを用いての案内を検討する必要がある。また、本部テントが邪魔になり、来賓が一斉放水を見学しにくいいため、今後はテントをなくすことを検討。

その他

毎年の文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元町会との文化財愛護意識の高揚を図り、文化・防災思想復旧に繋がる機会となることから、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景

